

イチマルサン ～ 103系の行方～

中一F組 佐々木 悠

どうも、こんにちは。中学一年旅行・鉄道研究部 HP 班 BVE 課の佐々木悠と申します。どうぞよろしくお願ひします。私がこの記事を書いた理由は奈良線の 103 系が好きだからです。

其の壱:103系とは何か??

103系は1963年に登場し、その後、大量生産されましたが、老朽化などから首都圏では2006(平成18)年に引退しました。関西地区では、まだ活躍していますが、最近では、2017(平成29)年10月に大阪環状線の103系が引退しました。さてこの先どうなっていくのか。そして、私の好きな、奈良線の103系はいったいどうなるのでしょうか…

其の弐:どこで走っている??

運用情報を以下のようにまとめました。

※下の表はあくまで参考程度にご覧ください。抜け落ちや間違いがあるかもしれません。2018年7月現在の情報をもとに作成しました。

路線	登場年	番台	運用区間	備考
奈良線	1984年	0番台	京都～木津	関西本線にも乗り入れ。
播但線	1998年	3500番台	姫路～寺前	寺前～和田山は非電化。
加古川線	2004年	3550番台	加古川～谷川	
関西本線	1983年	0番台	木津～奈良	<u>奈良線からの車輛乗り入れのみ。</u>
筑肥線	1983年	1500番台	筑前前原～西唐津	唐津線の一部にも乗り入れ。
和田岬線	2001年	0番台	兵庫～和田岬	

このように 103 系が現役な路線がわずかだということはお分かりいただけましたでしょうか？でも加古川線など結構、最近に登場したという例もあります。そして、この加古川線の 103 系 3550 番台はまだまだ使えそうな気がします。ここで私が謎だと思ったのは奈良線で 103 系が現役だということです。関西本線などの周辺の路線では全廃されているのになぜまだ走っているのでしょうか？

其の参: JR 西日本はなぜ 103 系を残すの??

JR 東日本は新車が出たら、すぐ置き換えようとするのに、なぜ JR 西日本は 223 系や 225 系など新しく生産した車両もあるのに 103 系の置き換え速度が緩やかなのでしょうか？特に奈良線の 221 系が 1989 年(平成元)年^{デビュー}してからすでに 30 年近くたっています。JR 東日本ならばもう 221 系も廃車にするはずなのに西日本はそうしないのでしょうか？この予想のために、を下のように表でまとめてみました!(またか〜と思われるかともおられるかもしれませんがご了承ください。)

JR 西日本		JR 東日本		備考
資本金	1000 億円		2000 億円	資本金は企業の規模に必ずしも直結するわけではない
保有車輛数	6498 両		12876 両	一部の試験車両を除く
営業距離	4900.6 km		7457.3 km	

自分の見解:私が注目したのは「保有車輛」という部分です。皆さんもわかるかと思いますが、車輛を作るには莫大な費用が必要です。JR 東日本は JR 西日本と比べて保有車輛数が二倍近くあるので、JR 東日本の方が多くのお金を所有していると考えられます。そして、他にもう一つ注目した部分があります。JR 東日本の挨拶文にあった会社説明のページに『大規模ターミナル駅開発や日本の新しいゲートウェイとして品川での「まちづくり」などを着実に進める』と書かれていました。JR 西日本にもサービスについて紹介している部分は東日本同様ありましたが、ここまで詳しく書かれてはいませんでした。東日本がここまで詳しく書くことができるのはそれを確実に実行することができるということの証拠なのではないかと私は思います。そしてこのような大事業をするには莫大な費用が掛

かる、ということは多くのお金を保有していることに繋がり、さらにその上にその資産を保有しているからこそ車輛の置き換えがすぐできるのではないかと思います。

其の四:問題の 103 系はどんな感じの車輛?

これまで、いろいろと 103 系について書きましたが、実際の 103 系はどのような姿なのでしょう?今回は 103 系とつい最近まで 103 系が走っていた大阪環状線で絶賛活躍中の 323 系と比較していきたいと思います。



←現在活躍中の 323 系

↑この車輛って山陽本線の 227 系とほぼ同じですね (笑)。最近の列車って似ているなあ



↑大阪環状線ではもう引退した 103 系

今回比較する車輛の写真を上に載せました。すでに外見からまったくの別物ですね。行先表示板も 103 系は昔ながらの方向幕なのに 323 系は最新鋭のフルカラーLED です。時代の流れを感じますね。これは余談ですが JR 西日本ではつい最近まで行先 LED と種別方向幕を併用していました。例えば、東海道線などでは最新列車である 225 系も LED と方向幕が併用されています。(その後に製造された車輛はフルカラーカラーLED が採用されています)。それとフルカラーLED 表示の車輛が出てきたのも同じく最近です。

103系と323系の対比を下に書いてみました。

323系		103系	
登場年	2016年		1969年
制御方式	VVVFインバータ制御		抵抗制御
材質	ステンレス		鋼鉄
最高速度	時速100km		時速100km
扉数	3扉		4扉
バリアフリー対応	全車両に対応		なし

さて、上のように比べてみましたが、私が意外に思ったことは最高速度が同じ時速100kmだということです。最新車両というだけで最高速度は変わらないものなんですね～！

323系はバリアフリー対応などでは良いと思いますが、大阪の中心を走る車両としては3扉では混雑などを考えてみると不足しているように思います。103系は古い車両ですが、このように新車に勝っている部分もあるのです。

其の五:103 系はなぜなかなか廃車にならないのか interview!!

今回は其の式で出てきた謎を解決するために駅員の方に interview してみました。その内容はというと、関西本線やおおさか東線や大阪環状線などの路線ではすでに 103 系が全廃されているのにその近くを走る奈良線では現役なのかというものです。

今回、私が interview したのは、帰省のついでに立ち寄った関西本線が通る加茂駅と関西本線の他に JR 片町線(学研都市線)、奈良線が通る木津駅です。まずは加茂駅から紹介します。



↑加茂駅の駅名標です。

Q. 関西本線やおおさか東線など周辺の路線では 103 系が全廃されているのになぜ奈良線だけは現役なのでしょう?

加茂駅では、下記のような回答が得られました。

A. 103 系を置き換える予定の 205 系が阪和線方面から来る予定だが、その車両がまだ足りないので、あまり置き換えが進んでいない。そして、103 系は広島、岡山に転用されることでした。

一部改変

※ここでは 205 系と書いてある部分は駅員さんが 105 系とおっしゃっているように聞こえましたが、105 系は桜井線などローカル線に使われていて、通勤用には向かないため、おそらく言い間違いだと思われます。あと付け足しとして、奈良線内で 205 系を見たので 205 系であることはほぼ確実だと思います。

一方、木津駅では

A. 置き換えるための車輛が今のところ、不足しているから。

この interview で私が思ったこと:私は当初、置き換え用の車両は 323 系かと思っていました。ですが、205 系に置き換えられると聞き、驚きました。理由は改造されているとはいえど、国鉄時代にも製造された車輛ですから、古いと思ったからです。そして私は 205 系よりも 207 系や 321 系を改造した方が車輛的にも長く使えるので、ぜひそちらがよいと思いました。

最後に interview に協力してくださった駅員の皆様、厚く御礼申し上げます。

其の六:まとめ

私はこの記事を書いたことで、思っていた以上に 103 系の廃車が進んでいたことが分かり驚きを隠せませんでした。ですが、もう一つ分かったことがあります。それは加茂駅で駅員さんに interview したとき 103 系が岡山、広島地区に転用されるということです。ということは、まだ 103 系は走り続けることができるというわけです。これを聞いたときも私は驚きました。しかし、先程の驚きとは少し違います。確かに、103 系が走り続けることは嬉しいですが、京阪神で駆け抜ける、あのウグイス色の姿がもうまもなく見られなくなるのを思うと、残念な気持ちになります。そして、できれば 103 系をイベント列車などで走ってくれたらなあと思います。

最後になりますが、この記事執筆するにあたり、協力していただいた皆様に対し厚く御礼申し上げます。

なお、この記事に書いてある 103 系転属計画は、今後変更される可能性があるのでご了承下さい。

出典 以下のサイトや書籍をもとにさせていただきました。

※PDF版をご覧になった場合下記の URL からサイトにアクセスすることができます。

<http://www.jreast.co.jp/ekitabi/chisanatabi/2017yamanote/chronicle.html>

<https://toyokeizai.net/articles/-/161118>

<https://toyokeizai.net/articles/-/222219>

<https://railf.jp/news/2017/09/05/153000.html>

週刊 JR 全駅全車両基地 NO. 16

週刊 JR 全駅全車両基地 NO. 26

<https://saitoshika-west.com/blog-entry-4417.html>

<https://matome.naver.jp/odai/2152143289894971701>

<https://ameblo.jp/fighters-tetsudo/entry-12348416988.html>

<http://www.yline-w.com/tnote/k/KTb00.html>

<http://takaq.fc2web.com/sy/jrw/jw103kakogawa.htm>

<http://www.kri-pm.com/103.html>

https://www.jrkyushu.co.jp/tokyo/tetsubun/tetsubun_56.pdf

<https://employment.en-japan.com/tenshoku-daijiten/9498/>

<http://www.jreast.co.jp/company/outline/>

<https://www.westjr.co.jp/company/info/outline/>

<https://www.westjr.co.jp/company/info/pdf/gaiyou.pdf>

<https://railf.jp/news/2016/02/24/170000.html>

http://www.westjr.co.jp/press/article/items/141208_00_326.pdf

<http://jrrollingstock.travel.coocan.jp/Urban/103-0~jp.html>

https://railf.jp/japan_railfan_magazine/2018/688/688-096.html

<http://dic.nicovideo.jp/a/103%E7%B3%BB>